



LIONS NEWS

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 330-A

Vol.5 2023 June

特集

令和のライオンズクラブ



特集：令和のライオンズクラブ

序論：令和の時代に挑むライオンズクラブ、そして 330-A地区

私たちの所属するライオンズクラブ 330-A地区は、長年にわたり、地域社会への奉仕を通じて人々の生活を豊かにしてきました。しかし、新たな時代の到来とともに、その存在と影響力に微妙な揺らぎが見え始めています。特に、30年に亘る会員数の減少は危機的な問題となっており、330-A地区が向き合うべき挑戦の一つとなっています。

もしかすると、私たちの活動が社会の複雑で多様なニーズに応えようとするあまり、特定の課題への深い関与を欠いているのかもしれませんが。その結果、明確なビジョンや目標がぼやけてしまい、会員になりたいと思う人々の心を引きつける力が弱まってしまったのかもしれませんが。

だからこそ、今こそ自己反省の時です。ライオンズクラブのアクティビティが現代社会のニーズにどれだけ適応しているのか、真摯に見つめ直す必要があります。

この記事では、そんなライオンズクラブの現状を厳しくも愛情深く解剖し、未来への道筋を探ります。令和の時代に輝き続けるために、どのような挑戦と変革が必要なのか、一緒に考えていきましょう。



1. 100 年の流れと新たな社会課題解決のステージ

1) ライオンズクラブの誕生

保険代理店だったメルビン・ジョーンズは「シカゴ・ビジネス・サークル」と呼ばれる実業家の昼食会クラブに所属していました。しかし、ビジネスだけに集中するクラブは、ジョーンズの大きなビジョンとは一致しませんでした。ビジネスの成功者たちで地域社会のための奉仕中心の組織を作ろう。そんなジョーンズの呼びかけで 1917 年 6 月 7 日シカゴのラサールホテルに 27 クラブを代表した 20 名の男たちが集まり会合が開かれました。これがライオンズクラブの始まりです。

2) 誕生当時の社会

当時の世界は 1914 年から世界戦争へと突入し、アメリカは 1917 年 4 月に参戦しました。この戦争では機関銃などの近代兵器が登場し、招集された 6,500 万人の人々のうち、800 万人が死亡、2,000 万人が負傷するという悲劇的なものとなりました。また、初めて化学兵器が使用され失明や肢体不自由となる兵士が何十万人も出ました。このような背景から 1925 年、オハイオ州セダーポイントで開催された第 9 回国際大会でヘレン・ケラーはライオンズに「盲人のために暗闇と闘う騎士」となるよう呼びかけたのです。

3) 新たなボランティア団体の勃興

ライオンズクラブは、その 100 年超の歴史を通じて大きな社会貢献を遂げてきました。しかし、新たな時代の到来は新たな課題を突きつけています。特定の社会問題に熱心に取り組む NPO の出現により、大規模な組織であるライオンズクラブは多岐にわたる活動を行う一方で、特定の問題への集中的な対応において後塵を拝しているかもしれません。

4) NPO の新たな挑戦と彼らが直面する課題

現代社会は、多様な問題と直面しています。それらを解決するためには、様々な視点と専門知識が必要です。ここで NPO が力を発揮します。それぞれの NPO は、自身の専門性を活かし、具体的な目標に向けて活動を展開しています。

それは東京都で認定された 9,954※の NPO 法人が象徴しています。保健、医療、福祉から社会教育、まちづくり、子どもの健全育成に至るまで、その活動範囲は広範に及びます。また、観光や農山漁村の振興など、特定の地域や産業への支援を目指す活動も見られます。

しかし、NPO もまた様々な課題に直面しています。人材の確保や教育、後継者の不足、収入源の多様化などがその一例です。これらの問題は、NPO の持続可能性や影響力を脅かす可能性があります。

これらの動きに対し、ライオンズクラブのメンバーはどのような視点を持つべきでしょうか？ライオンズクラブの活動は、全体的な地域奉仕を目指しています。しかし、特定の問題への深い取り組みが現代社会から求められているのかもしれません。

(※2023 年 03 月 31 日現在、50,368 の NPO 法人のうち、9,954 法人が東京都で申請されています。)

■特定非営利活動法人の活動分野について (2023 年 03 月 31 日現在)

定款に記載された特定非営利活動の種類(複数回答)

号数	活動の種類	法人数
第1号	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	29,406
第2号	社会教育の推進を図る活動	24,549
第3号	まちづくりの推進を図る活動	22,333
第4号	観光の振興を図る活動	3,449
第5号	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	2,972
第6号	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	18,184
第7号	環境の保全を図る活動	13,039
第8号	災害救援活動	4,292
第9号	地域安全活動	6,276
第10号	人権の擁護又は平和の活動の推進を図る活動	8,922
第11号	国際協力の活動	9,137
第12号	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	4,832
第13号	子どもの健全育成を図る活動	24,365
第14号	情報化社会の発展を図る活動	5,548
第15号	科学技術の振興を図る活動	2,777
第16号	経済活動の活性化を図る活動	8,869
第17号	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	12,766
第18号	消費者の保護を図る活動	2,832
第19号	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	23,544
第20号	前各号で掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	324

内閣府 NPO ホームページより

2. 若者とボランティア活動

1) 新たなボランティアのかたち

現代の若者たちは、伝統的な形のボランティア活動だけでなく、新しい形の社会参加にも興味を示しています。例えば、Wikipedia の編集や Google ローカルガイドとしてのレビュー提供など、デジタル空間での活動も一種のボランティアとして捉えられます。

また、ソーシャルメディアの普及により、若者たちは自身の意見を世界に発信する力を手に入れました。これらの活動は、従来のボランティア活動とは異なるかもしれませんが、それでも社会への貢献を目指すものであるため、ボランティア活動として価値が認められるべきです。

2) 若者の視点

一方で、若者たちは従来のボランティア活動に対しても新たな視点を持っています。従来のボランティア活動は、社会の弱者を助けるという観点から行われることが多かったので

すが、若者たちは自分たちが社会に影響を与える主体であるという認識を持つようになっていきました。そのため、従来のボランティア活動に参加する際でも、自分たちが何を達成したいのか、どのように社会に影響を与えたいのかを明確にすることが重要だと考えています。

このような視点から、ライオンズクラブはボランティア活動の新たな形を取り入れ、若者たちの視点を理解し、彼らが社会に貢献したいと思う意欲を引き出すことが求められます。

[コラム] NPO 法人おりがみ

NPO 法人おりがみは、ボランティア活動を通じて「もうひとつの役割」を生み出す学生たちのチームです。彼らは、自由で不安な日常を抜け出し、自分の興味や得意分野を活かしたボランティア活動を通じて、一人ひとりが夢を追い求められる社会を目指しています。また、個々の生き方と社会問題解決の在り方を変革する目的も掲げています。これは、仕事や家族だけでなく、ボランティアという新たな色彩を日常に添えることで、全ての人が自分自身の可能性を信じて生きていける社会を創り出すための活動です。

<https://origami-vol.or.jp/student/about/philosophy/>

3. 身近な新たなアクティビティを探して

私たちが具体的に取り組むべき新しいアクティビティは目の前で困っているたくさんの人たちのメッセージを捉えるところから始まるのかもしれませんが、今こそ私たちが取り組むべき令和のアクティビティについて考えていきましょう。

●330-A 地区メンバーからの新たな提案

近頃、ライオンズクラブメンバーからは、新たな時代におけるライオンズクラブの役割について、熱意あふれる多様なアイデアが寄せられています。それぞれの意見は私たちの行動に新たな視点をもたらし、社会問題への取り組みに方向性を提供します。

①子どもたちの支援

貧困状態にある子どもたち、シングルマザーの子どもたち、ヤングケアラー、そして発達障害の子どもたちへの支援が提案されています。特に注目されるのが、境界知能の子どもたちへの支援であり、彼らは社会的に見過ごされがちであるにもかかわらず、将来、社会問題を引き起こすリスクを抱えています。これらの子どもたちへの支援には、ライオンズクラブの伝統的なプログラムを活用し、必要な場合は新たなプログラムを開発することが求められます。なお、次期キャビネットにおいては「子どもの未来応援委員会」を新たに設置し、「子どもの貧困の連鎖を断ち切る」取り組みが発表されています。

[コラム] 子どもの貧困問題

日本では子どもの貧困が深刻な社会問題となっています。2019 年の国民生活基礎調査によれば、子どもの貧困率は 13.5% と報告されており、これは日本の子どもの約 7人に 1人が貧困状態にあることを示しています。相対的貧困とは、一人あたりの年収が 127 万円以下で生活している状態を指します。また、特に問題視されているのがひとり親家庭の貧困です。その貧困率は 48.1% と高く、ひとり親家庭の 2人に1人が貧困状態にあるという深刻な状況です。

これは OECD 加盟国中で最も高いレベルです。これらの問題は、貧困状態が子どもたちの教育や将来の生活に悪影響を及ぼすため、国全体の課題として捉えられています。認定NPO法人キッズドアより



浮間子ども食堂 食料支援 (東京赤羽 LC)



認定 NPO 法人キッズドア 子供の居場所で食事作り
(東京ウィル LC)

②自然保護

植物や動物の自然保護に関するアイデアもありました。地球規模での環境問題に取り組むために、地域レベルでの具体的なアクションが必要とされています。この分野では、コミュニティに啓蒙活動を行い、ゴミの分別と資源回収に対する意識を高めることが求められています。



ふるさと清掃運動会 (東京一ツ橋 LC)

③社会的マイノリティの支援

ホームレス、元犯罪者、児童養護施設出身者、寝たきりの高齢者、障害を持つペットなど、社会的に支援が必要な人々や動物への手を差し伸べるアクティビティも考えられています。



④婚活支援

現政権が進める「異次元の少子化対策」を具体化する一環として、婚活支援も提案されています。仕事の関係上、婚活を行うのが難しい人々をサポートすることで、社会全体の幸せに貢献することが期待されます。



⑤起業家スクール

これは、経済的な自立を図る若者たちを支援するための提案です。ライオンズクラブが起業家教育を行うことで、ビジネスの活性化とライオンズクラブの活性化を同時に促進します。



⑥食品ロスの削減

コンビニなどでの食品ロスを有効に利用する活動は、環境問題と食料問題の両方に対応する重要な活動となります。

[コラム] フードバンク茨城

NPO 法人フードバンク茨城は、賞味期限内で安全に食べられるにもかかわらず食品メーカーやスーパーマーケット等で包装ミス、返品等さまざまな理由で流通させることができず廃棄されてしまう食品（食品ロス）や個人の方から食品の寄付を受け、それらの食品を必要とする施設や団体、社会福祉協議会などに無償で届ける活動をしています。個人の方から少数の食品を寄付するためにわざわざフードバンクの事務所に来ることなく寄付を手軽にさせていただく方法に「きずなBOX」（食品収集箱）があります。多くの方が利用する公共施設（市役所、図書館、市民センター等）にこのBOXを設置して個人の方からの食品を入れていただいております。廃棄（お金をかけて作った食品を廃棄するために燃焼して二酸化炭素を発生させる）するのであればもったいないので、それを（廃棄する食品を生活困窮者に提供する）ありがたいにつなげることができればと多くの企業や個人の方に支えられているのがフードバンク茨城です。



⑦災害支援

災害が頻発する現代社会において、ライオンズクラブが提供できるのは一時的な援助だけではありません。特に被災地での起業支援は、雇用創出による長期的な支援活動として注目されており、持続的な地域活性化に直接貢献します。



能登半島珠洲市地震災害支援（東京レスキュー LC）

以上がメンバーから寄せられた令和の時代の新しいアクティビティ提案です。これらを参考にして、ライオンズクラブがこれから取り組むべきアクティビティを検討し、計画し、実行していきましょう。そして、令和の時代においても、ライオンズクラブの信念である「We Serve(我々は奉仕する)」の精神を継続し、地域社会と世界への貢献を果たし続けていきましょう。

●委員会非公式メンバー ChatGPT からの提案

次に人工知能 ChatGPT はその知見でどのような新しいアクティビティを提案するのか聞いてみました。

①デジタルリテラシープログラム

テクノロジーの発展により、全ての年齢層がデジタルリテラシーを持つことが求められています。特に、高齢者層にはデジタル技術へのアクセスや理解が難しい場合があります。ライオンズクラブは、地域の高齢者を対象にしたデジタルリテラシー教室を開催し、生活の質向上に寄与することができます。

②環境保全活動

地球温暖化という大きな課題に対し、地域レベルでの取り組みも重要です。クラブは、地元の公園や森林での清掃活動、植樹活動、リサイクルイベントなどを通じて地球環境の保全に貢献できます。



③ジョブトレーニングプログラム

経済的困難や雇用の不安定性が増しています。ライオンズクラブは、職業訓練セミナーやキャリアカウンセリングを提供することで、地域社会の雇用状況の改善に貢献できます。

④子ども向け STEM 教育

子どもたちに科学、技術、工学、数学 (STEM) の基礎を学ばせ、未来のイノベーションを牽引する能力を育むことは重要です。ライオンズクラブは、ロボット製作やコーディング、実験などを含む STEM 教育イベントを開催し、子どもたちの学習を促すことができます。



⑤地元の企業とのパートナーシップ

ライオンズクラブは地元の企業と提携し、共同でコミュニティプロジェクトを実施することができます。これは地域の経済活動を活性化するとともに、企業の社会貢献活動を支援するための一石二鳥のアプローチです。

⑥ダイバーシティとインクルージョンの推進

社会全体が多様性を受け入れ、それぞれの個性を尊重する文化を育むことが求められています。ライオンズクラブは、ダイバーシティとインクルージョンをテーマにしたイベントやワークショップを開催し、この価値観を推進することができます。

これらの新しいアクティビティは、ライオンズクラブが令和の時代においても地域社会に貢献し続けるための具体的なアクションプランとなります。それぞれのアクティビティは、地域のニーズに応じてカスタマイズされ、適応されるべきです。ライオンズクラブのメンバーたちは、これらの活動を通じて自らのスキルと情熱を社会貢献に役立てることができ、同時に地域社会との絆を深めることができます。



4. ライオンズクラブの可能性：連携と変革

ここで、私たちライオンズクラブの強みと、その活用方法を改めて考察したいと思います。私たちの当たり前は、使い方次第で大きな強みになります。

1) グローバルなネットワーク：他団体からみた魅力

ライオンズクラブの特徴的な点は、そのグローバルなネットワークです。200 カ国以上に存在し、会員数は全世界で約130万人以上です。これは他の多くのNPOとは異なる点です。グローバルネットワークを持つライオンズクラブだからこそ取り組めるアクティビティが多数存在します。

2) 積極的な連携：NPO や企業との協業

私たちの強みを活かして、他団体との積極的な連携を視野に入れることで、より広範で深い社会的影響力を発揮することができます。NPO 各団体の強みや専門知識と私たちの組織力が組み合わせれば、もっと多様な課題に取り組むことができます。そして、ライオンズクラブは社会の様々な問題に対する解決の架け橋となり、より大きな変革をもたらすことができるのです。

3) 行政との協力：パワフルな人脈の活用

ライオンズクラブの強みの一つは、疑いようのない広大で多様な人脈です。この人的なネットワークは、大規模な社会問題に対抗する力となります。より大きな社会的インパクトを生み出すためには、政治や行政の協力が不可欠であり、ここでライオンズクラブは役割を新たにすべきです。それは、社会の課題を見つけ、それを広く認知させ、解決策を提案し、実現するためのブリッジとなる役割です。そのためには、クラブメンバーの広範な人脈を活用し、政策提言やロビー活動を行い、制度として行政が取り組むまで熱心に活動し橋渡し役を果たすことが重要です。

4) 革新の自由：時代に即したアクティビティの創出

ライオンズクラブの別の強みは、メンバー自身が新しいアクティビティを自由に生み出すことができる点にあります。特定の目的に限定される NPO 法人とは異なり、私たちは常に時代に即した新しいアクティビティを開発することができます。これは、現在存在していない新しい社会課題に対する解決策を提案するための最適なプラットフォームとも言えるでしょう。ボランティア活動によって解決したい社会課題や問題意識を持った若者たちがそれを具現化するためにライオンズクラブを大いに利用してもらいましょう。

5. 令和のライオンズクラブ: おわりに

「令和の今、LC の支援の在り方は本当に時代に適しているのか？」

「各種 NPO の方が、より具体的な支援を行っているのではないか？」

「LC としてどのような変革が求められているのか？」

編集会議での雑談から、今号の特集が生まれました。

実際、LC が発足した約 100 年前と現在では、社会課題は大きく変化しています。支援活動においても、いわゆるノブレス・オブリージュ、財産や地位を有する選ばれし者から弱者に対する「概念的支援」から、特定の社会課題の解決に情熱的に取り組む若者や NPO による「具体的な支援」への大きなうねりがみられます。さらに、明確なビジョンがあれば、クラウドファンディング等による資金調達も可能となりました。つまり、奉仕への強い思いさえあれば、LC のような組織を前提とせずとも誰でも支援活動を行うことができるのです。

歴史、伝統、社会的ステイタス、信頼性、国際的ネットワーク、多彩な人脈、といった LC の優位性は決して揺らぐものではありませんが、これらアドバンテージを活かしつつ、組織を持続的に成長させていくためには、更なる工夫と努力が必要です。さまざまな形で支援活動を行っている人達とのオープンな交流や協調、それらのコミュニケーションを通じた支援分野の拡充は有効な施策のひとつといえるかもしれません。

LC がより多くの新しい分野で奉仕活動を行うこと、それは社会にとっても大変素晴らしいことです。一方で組織の変化には常に多少の時間を要します。LC の変革を待つのではなく、目の前に真に助けを必要としている人が居たら、メンバー一人ひとりが行動を起こしましょう。それこそが LC の原点であり、本特集でお伝えしたいメッセージです。

We Serve!

ライオンズクラブメンバー大交流会開催

5/13(土)青年アカデミー委員会



5月13日(土)銀座のパセラリゾート B3Fにて青年アカデミー委員会主催でライオンズクラブメンバー大交流会が開催され約60名のメンバーが参加しました。

第1部は3クラブ4名のメンバーによるパネルディスカッションを行い、自クラブのアクティビティの紹介などを行いました。その後のグループセッションでは各テーブルで2つのテーマについて話し合いました。

1つ目は「マイ・ファーストボランティアストーリー(初めてのボランティア体験)」、2つ目は席替えの後、「もし、自分が5000人規模のリーダーだったら。どのような奉仕活動をしたいか」について、参加者は熱心に意見を交わしていました。

第2部はメンバー交流懇親会です。食事をしながらの歓談で参加者たちは交流を深めました。地区外からの参加者もあり会場は盛り上がり参加メンバーは非常に充実した一日を過ごしました。

PR

一般向け PR

今期キャビネット主要政策 No.4

PR メディア制作委員会

■ 地上波 TV15 秒スポット CM 出稿



一般社団法人東京地区ライオンズ CM パターン A

<https://www.youtube.com/watch?v=7xYNScC784E>

一般社団法人東京地区ライオンズ CM パターン B

<https://youtu.be/Bx5ALG1L1d0>

TV東京よりライオンズクラブ国際協会 330-A 地区スポット CM が 4 月 16 日 日曜日 から 4 月 22 日 土曜日の 1 週間に 17 回放送されました。

スポット CM はパターン A とパターン B の 2 種類を制作。

A はライオンズクラブの歴史と活動内容、B はイメージ戦略をモチーフとして委員会メンバーが企画から制作 (画像撮影、映像撮影、編集) を行い、ナレーションもメンバーによるものです。

視聴人数合計 (概算) は 6,159,290 人。

東京ライオンズクラブ様 2023年4月TVスポットCM 視聴率・概算視聴人数 につきまして

放送枠	スポットCM放送 番組名	個人視聴率(ALL)(%)	世帯視聴率(%)	概算視聴人数
4月16日 日 12:54~	『開運! なんでも鑑定団 (再)』	3.2	5.8	1,305,280 人
4月17日 月 15:40~	『よじこじDays』	0.5	1.0	203,950 人
4月18日 火 9:26~	『なないろ日和!』	0.1	0.4	40,790 人
4月18日 火 12:00~	『昼めし旅』	1.0	2.0	407,900 人
4月19日 水 13:00~	『昼サテ』	0.3	0.6	122,370 人
4月19日 水 6:00~	『News モーニングサテライト』	0.3	0.6	122,370 人
4月19日 水 13:40~	『午後のエンターテインメント』	1.3	2.6	530,270 人
4月19日 水 22:58	『ワールドビジネスサテライト』	1.5	2.5	611,850 人
4月19日 水 25:30	『ソロ活女子のスズメ3』	0.4	0.9	163,160 人
4月20日 木 9:26~	『なないろ日和!』	0.2	0.4	81,580 人
4月20日 木 12:00	『マル得! 快適ショッピング』	0.1	0.3	40,790 人
4月20日 木 13:40~	『午後のエンターテインメント』	1.1	2.2	448,690 人
4月20日 木 19:00~	『タクシー運転手さん 一番うまい店に連れてって』	3.3	5.3	1,346,070 人
4月20日 木 24:00~	『じっくり聞いタロウ〜スター近況マル秘報告〜』	0.6	1.4	244,740 人
4月21日 金 15:40~	『よじこじDays』	0.6	1.1	244,740 人
4月21日 金 16:54~	『ゆうがたサテライト』	0.2	0.6	81,580 人
4月22日 土 12:00~	『相葉雅紀の人生クイズ』	0.4	0.7	163,160 人
視聴人数合計(概算)				6,159,290 人

※テレビ東京の放送エリア内視聴者数・・・約4094万人

(テレビ東京視聴可能エリア: 1都6県全域 ※東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県)

※テレビ東京の視聴率1%あたり 関東地区の視聴人数・・・約40万7900人 (視聴率は個人全体(ALL)視聴率)



■ ラジオ特番 ライオンズクラブ国際協会プレゼンツ MY FIRST STORY

放送日時【第1回】2023年4月15日(土)20時00分～21時00分

【第2回】2023年5月20日(土)20時30分～21時30分

パーソナリティ 江口ともみ

第1回は進藤義夫元ガバナー、伊賀保夫元ガバナーにライオンズクラブの歴史や活動内容についての解説、学生支部メンバー代表者2名にはライオンズクラブでの奉仕活動に参加しての感想などを述べて頂いた。

第2回は増田正明ガバナー、中澤一浩ガバナー、沼田浩正ガバナーより、それぞれ入会のきっかけ、取り組んだ奉仕活動で印象深いものについてコメントを頂いた。



ライオンズクラブ様 4月放送ラジオ特番 到達人口について

【ニッポン放送でのCM延べ聴取到達人口】

特番オンエア日時 4月15日(土) : 20時

スポットCM露出 : 4月5日(水) ~ 14日(金) : 00~24 : 00の20秒スポットCM)

	カバレッジ (エリア内聴取者数)	瞬間個人聴取率	CM放送本数	延べ到達人口
1時間特番 (1回あたり)	4700万人	0.8	5本	188万人
20秒スポット	4700万人	0.9	51本	2157.3万人

【山梨放送でのCM延べ聴取到達人口】

特番オンエア日時 4月5日(土) : 20時

スポットCM 4月11日(火) ~ 19日(水) : 00~24 : 00の20秒スポットCM)

	カバレッジ (エリア内聴取者数)	瞬間個人聴取率	CM放送本数	延べ到達人口
1時間特番 (1回あたり)	114.9万人	7.2	5本	41.3万人
20秒スポット	114.9万人	6.6	10本	75.8万人

NIPPON BROADCASTING SYSTEM, INC.

ライオンズクラブ様 5月放送ラジオ特番 到達人口について

【ニッポン放送でのCM延べ聴取到達人口】

特番オンエア日時 : 5月20日(土) 20時30分~21時30分

スポットCM露出 : 5月10日(水) ~ 19日(金) : 00~24 : 00の20秒スポットCM)

	カバレッジ	瞬間個人聴取率	20秒換算本数	延べ到達人口
1時間特番 (1回あたり)	4700万人	0.85	5本	199.75万人
20秒スポット	4700万人	0.92	51本	2205.2万人

【山梨放送でのCM延べ聴取到達人口】

特番オンエア日時 : 5月21日(日) 18時~19時

スポットCM露出 : 5月17日(水) ~ 25日(木) : 00~24 : 00の20秒スポットCM)

	カバレッジ	瞬間個人聴取率	20秒換算本数	延べ到達人口
1時間特番 (1回あたり)	114.9万人	7.5	5本	43.8万人
20秒スポット	114.9万人	6.8	10本	78.1万人

NIPPON BROADCASTING SYSTEM, INC.



69th Annual Convention

第 69 回年次大会開催 2023 年 4 月 22 日 (土)
東京プリンスホテルにて 330-A 地区第 69 回年次大会が開催されました。

代議員総会では各種議案が採決され、次期地区ガバナー、第一、第二副地区ガバナー立候補者の紹介と所信表明の後、信任投票が行われました。次期地区ガバナーには東京ピース LC 所属 L 阿部かな子、次期第 1 副地区ガバナーには東京ドリーム LC 所属 L 杉原省吾、次期第 2 副地区ガバナーには東京渋谷 LC 所属 L 森亮介が選出されました。





皆様、一年間お疲れ様でございました。今期は、PR チームが3委員会に分かれ、それぞれの 役務を独立して実行しながら、PR地区コーディネータ、副コーディネータと各 3 委員会の委員長、委員、アドバイザーがより一体となり、団結し、相互に連携しながら、各自の前向きな取り組みのもとで運営できたのではないかと思います。私たち PR チームの強さは、さまざまな世代やライオンズ歴のメンバーが、よりぎっくばらんに意見を言い合えること。かつ、PR として行動を継続し続ける使命を、メンバーみなで共有しているところにあります。我が PR SNS 対策委員会としては、メディア委員会が中心となって手作りで取り組んだ、ラジオ特番、TV-CM の放映に伴い、より広く一般の方のライオンズクラブへの関心を取り込むべく HP の動線の改善と、ライオンズクラブの活動をわかりやすくご紹介するページの新設を行い、日次のアクセス数の向上にその結果が現れるようになって参りました。また、前期からスタートしました公式 LINE の運営においても、広報委員会が発行する地区ニュースのリリースの周知や、キャビネットからの周知事項、他委員会の活動周知の支援に勤めてまいりました。課題としては、全ての委員会との連携という点に苦労しましたが、これも立ち上げ時の良い経験と思います。来期は本格運用 2 期目です。ガバナー並びにキャビネットと二人三脚で各委員会ともより密に連携し、より発信力を高めて行ければと存じます。またガバナー方針をより推し進める中で、変わらないベースラインとして、皆様と取り組んできた、若い人たちが参加して共感するライオンズクラブへ、330-A 地区に参加しているメンバー一人一人が、より共感できることに重きを置いた情報共有のより活発化に寄与できるよう、ライオンズクラブの発信情報を、内外の結びつきを高めるよう取組んで参ります！引き続きよろしくお願い致します。

PR SNS 対策委員会 委員長 L 小野健志



増田ガバナーの熱い思いで CM を作成する事が有る意味、大きなミッションでした。CM は「LIONS CLUB CM -地域とつながるきっかけへ-」・「LIONS CLUB CM -思いやりを行動へ-」の 2 パターンを作成しましたが、企画・戦略・構成・動画作成・ナレーションの全てを、委員会メンバーで作上げた事が、一番の喜びです。330-A 地区のトップ画面に CM のリンクを貼り付けていますので、今一度視聴して頂ければ幸いです。そして PR チームの皆様、一年間大変なことも多々ありましたが大変お世話になりました。また何処かでチームの皆様と乾杯したいものです。

PR 副コーディネーター L 坂本純一



1 年間ありがとうございました。今年印象に残っていることとしては、「TV CM」制作です。CM ではパターン A の声を担当させていただきました。パターン A の動画は赤尾 L が担当頂いたのですが、お一人で企画、監督、動画制作を担当頂き感謝しています。PR 委員会では、本業が全然違うメンバーが集まって、ライオンズクラブのために色々なことを学びながら頑張っています。プロ集団というわけではないので、足りない部分もたくさんあると思いますが、できる限りのことを頑張っているメンバーであるということを知っていただけると嬉しいです。そして、来期も引き続き頑張りますので、よろしくお願いします。

PR メディア制作委員会 副委員長 L 藤田紘子



PRSNS 対策委員会に所属させていただきました。振り返ると、委員会の日程と業務が重なってしまう事も多く、欠席ばかりの一年間でした。それでも暖かく迎え入れていただいた委員の皆様方に感謝申し上げます。3 つの委員会に分かれた PR チームでしたが、分け隔て無く意見を言い合えるとても良い関係性で、一員として携わることが出来たことを光栄に思います。一年間ありがとうございました。

PR SNS 対策委員会 副委員長 L 石田賢



TV スポット CM・ラジオ番組製作、それらを視聴した一般ノライオンを誘導する LP 製作などに携わらせて頂きました。どのように世間へライオンズクラブを紹介し、また認知度を向上させ会員増強に繋げるか？という課題を正面から考える貴重な経験となりました。若輩の意見に広く耳を傾けて下さる委員会の皆さまの器の大きさと、知識量に改めて敬服いたします。1 年間お世話になりました。

PR メディア制作委員会 委員 L 海沼潤



今期も PR チームに参加させていただき、ありがとうございました。アドバイザーとして SNS 対策委員会では、330-A 地区の公式 LINE アカウントの制作・運用に携わらせていただきました。次年度も会員の皆様に対して、情報の発信だけにはとどまらず、330-A 全体として盛り上げられるコンテンツを提案・実行していけるように考えていきたいと思います。ラジオ特番、TVCM などといった普段の自クラブや仕事では体験できない活動だったので、実現までの過程に参加しているだけでも大変勉強になりました。来期は今期での活動を活かしたうえで、継続と新たな挑戦に取り組んでいきます！そして、活動後に旨い酒を皆さんと飲めればと思います(笑)引き続きよろしくお願いいたします。

PR SNS 対策委員会 委員 L 坪坂有純



今期、特に後半は AI とそれを下支える(一服気味だった)GPU 関連企業の急騰ぶりに最後まで驚愕させられた 1 年でした。写真は AI に「ライオンズクラブ 330-A 編集後記 来期への希望 日本」のプロンプトを英訳して貰い、英文を元に AI によって生成された写真を選びました。来期、再来期の終わりにどこまで進化・変化があるか楽しみです。

PR 広報委員会 副委員長 L 三代勝之



今年は、ChatGPT の特集等を通じて、LC の今後の在り方について改めて考えさせられると共に、個人的にも良い勉強の機会となりました。週末の早朝、珈琲片手に委員の皆様とブレインストーミング(オンライン)を行う中にも、さまざまな気づきがありました。毎号交替で編集長を務められた委員の皆様、そしていつも迅速かつ的確なとりまとめをして下さった桂委員長に改めて御礼申し上げます。一年間本当にお疲れさまでした。

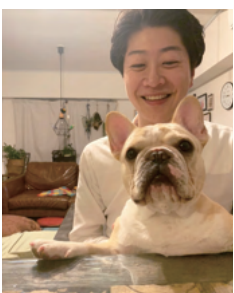
PR 広報委員会 アドバイザー L 荒牧知子



一年を振り返りまして、あっという間の一年でした。

今期特に時間を割いたミッションは媒体の放送・CM における取材・撮影の大学側との仲介でした。中央大学佐藤副学長のご尽力で放送までこぎ着けたことに喜びを感じる次第であります。また、その流れで学生支部(白獅子会)の学生達と多摩キャンパスにおける献血活動にも数回参加して奉仕活動の一端を担えたことも大きな収穫でした。来期も宜しくお願い致します。

PR 広報委員会 副委員長 L 茂岡幹弥



初めての委員会活動で右も左もわからない中先輩方に快くお迎えいただきました。会議に毎回参加できませんでしたが、楽しい活動ができました。委員会の先輩方は IT リテラシーが高い方も多く、勉強になることばかりでした。そして良い意味でギャップがあったのが委員会の皆さんが、若手で新人の私の意見にもびっくりするくらい耳を傾けてくださったり、意見を採用して下さったりしたことです。とても嬉しかったです。委員会の皆様、委員会に関わらせていただいた自クラブの皆様、PR 委員会の活動にご理解ご協力をいただいた皆様に感謝しています。ありがとうございました。

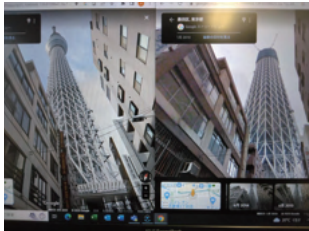
PR 広報委員会 委員 L 堀江昇太

1 年を振り返って



今期は広報・SNS・メディアという 3つの委員会で例年と違った委員会構成となりました。そんな中でそれぞれが単独で動きながらも全体としての情報交換も頻繁に行われました。広報は斬新的な企画などを打ち出し、読み物としてのグレードも上がったと思います。SNS は公式 LINE や、公式 YouTube などのオペレーションに加え、HP においても一般の方が見たときに LC の活動に興味を持った方に、次の誘導へと繋げる改革もしました。そして一般向け PR を行うためにテレビ CM とラジオ特番をスポンサーするメディアは、今まで LC が行ってこなかったマスメディアに取り組んできました。各メンバーの活動は今後にもつながっていくものと信じております。1 年間お疲れ様でした。

PR 地区コーディネーター L 坪谷 茂



超アナログ人間なのに何故か PR チームの L 阿部清彦から少しだけデジタルの話を。皆様グーグルマップやストリートビューをご存知でしょうか。パソコンやタブレットから見られる地図がグーグルマップで、グーグルマップの中で世界中の道路沿いの風景をパノラマ写真が見られるのがストリートビューです。このストリートビューですが、1、2 年に 1 回くらい最新の写真に差し替えられます。

過去の写真が見られなくなってしまうのでしょうか。実は見られます。過去の写真の表示方法を説明しようとしたら、文字数がオーバーしてしまいましたので、とりあえず最新のスカイツリーと建築途中のスカイツリーの対比画像を紹介します！

PR 副コーディネーター L 阿部清彦



1 年を振り返って。私は今期メディア制作委員会に所属させていただき、ライオンズクラブ (以下 LC) の CM 制作に携わりました。過去 5 年間の 330-A ニュース記事を運動テーマ別に分類し、地域活動でインパクトを与えている運動を選択。その中で若い世代と一緒に活動している現場へ出向きインタビュー取材、アクティビティの撮影をし、編集作成しました。TVCM には厳しい業態、映像の考査がありパスできたことは今後の LC の PR に役立つと思います。「少しでも多くの市民に LC のことを知ってもらいたい」その思いで活動した 1 年でした。ご協力いただいたメンバーに改めて感謝申し上げます。

PR メディア制作委員会 副委員長 L 赤尾嘉晃



皆様の技量と努力に助けられ、自ら積み上げてきたものと勝負した 1 年間でした。今改めて委員会メンバーの功績を讃え、深く感謝の意を表します。そして帰するところ、自分は人と繋がりたい、人の対するやさしい感情を無くしたくないと、思い歩いています。

PR メディア制作委員会 委員長 L 吉岡晋



1 年間お疲れ様でした。この最終号まで辿り着けたのは、委員会メンバーの皆様が熱心に毎月の PR 合同委員会に出席し、土日の早朝から 20 回以上の編集会議に参加されたおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

次期以降の広報委員会においても、先輩方から引き継がれてきた不屈のチャレンジ精神を発揮して頂くことを望みます。

共同編集長 PR 広報委員会 委員長 L 桂太郎

1 年間のご講読ありがとうございました。

2022-2023 330-A 地区 PR チーム

編集後記



IT オンチの私が PR チーム広報委員会に入れて頂くことになり、広報委員会ミーティングの度に、初めて聞く言葉に出会い衝撃を受けた 1 年でした。そして毎号の地区ニュース作りの大変さを垣間見ました。桂委員長をはじめ荒牧アドバイザー、広報委員の皆様に変えてお世話になりました。武内担当副幹事のお優しい励ましにも癒されました。1 年間の感謝をこめて！

編集長 PR 広報委員会 委員 L 小倉左羅

表紙について



『不死鳥 蘇る者』 画家 笠井俊幸作

不死鳥は古代エジプトの神話に出てくる聖鳥で、500 年に一度、自ら火の中に入って焼かれ、その灰の中から若い姿で再生すると言われている。「人生で恵まれない状態になっても何度でも這い上がれる人のこと」を表す。作者は 15 年前病に倒れ ICU で意識の無い状態をさまよひ、15 年余りのリハビリと準備の時を経て、未だ半身に麻痺が残っているが利き手を右手から左手に変えて制作活動を続けている。

2022-23 PR チーム

L 坪谷 茂 PR コーディネーター 東京平成 LC
L 阿部 清彦 PR 副コーディネーター 東京新宿 LC
L 坂本 純一 PR 副コーディネーター 東京三鷹 LC

・PR 広報委員会

L 桂 太郎 委員長 東京世田谷 LC
L 茂岡 幹弥 副委員長 東京白門 LC
L 三代 勝之 副委員長 東京スバル LC
L 堀江 昇太 委員 東京柳橋 LC
L 小倉 左羅 委員 東京ウィル LC
L 小泉 邦明 委員 東京飯田橋 LC
L 石川 ナオミ 委員 東京さざそう LC
L 鈴木 郁朗 委員 東京新宿 LC
L 荒牧 知子 アドバイザー 東京 LC
L 佐藤 聖士 アドバイザー 東京尾張町 LC
L 向井 忠義 アドバイザー 東京小金井 LC
L 新井 大介 オブザーバー 東京新宿 LC

・PR メディア制作委員会

L 吉岡 晋 委員長 東京けやき LC
L 河田 淳一 副委員長 東京平成 LC
L 藤田 紘子 副委員長 東京ヒルズ LC
L 赤尾 嘉晃 副委員長 東京豊新 LC
L 吉田 拓矢 委員 東京蒼天 LC
L 海沼 潤 委員 東京柳橋 LC

・PR SNS 対策委員会

L 小野 健志 委員長 東京ピース LC
L 大和田 博道 副委員長 東京葵 LC 魁支部
L 石橋 卓磨 副委員長 東京稲門 LC
L 石田 賢 副委員長 東京三鷹 LC
L 山本 元気 委員 東京調布 LC
L 坪坂 有純 アドバイザー 東京新宿 LC



電子版

ライオンズ国際協会 330-A 地区 ライオンズニュース VOL5

発行人:PR 広報委員会委員長 L 桂 太郎

発行:2023年06月

20230625

Copyright 2022-23 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.